



スワヒリ語で「ゆっくり行こう」という意味

令和8年（2026年）5月22日

第1号

札幌市立太平中学校 まなびの教室

木々の葉が青々と茂り、風が爽やかに感じる季節となりました。新年度が始まって2か月になりますが、生徒の皆さんは新しい生活になじんできたでしょうか。やったことがない係に挑戦したり新たな友達ができたりして、張り切っている人がいるでしょう。一方、1年生をはじめ、学校や学級が変わって、少し気疲れしている人もいます。校外学習（1年生）・宿泊学習（2年生）・修学旅行（3年生）といった行事やテストの準備で忙しい毎日ですが、睡眠時間を確保してコンディションを整え、新生活のペースをつかんでください。

さて、この4月に開設した太平中学校まなびの教室ですが、5月12日から通級指導がスタートしました。どの生徒も初めての場所で初対面の担当者とのやりとりですが、質問をよく聴いて答えたり相手に分りやすい言葉を選んで話したりする姿に感心させられました。1年生は小学校で、2・3年生はプラス中学校で培ってきた力が発揮されているとみています。

保護者の皆様には、面談でお子さんの今までの頑張りや現在の様子を伝えていただき、私たち担当者の生徒理解にとっても役立っています。新たな環境で頑張っている生徒の思いに耳を傾けるとともに、学習意欲のアップにつながる取組ができたら、と考えています。今後とも、情報共有と連携をよろしくお願いいたします。



○保護者説明会を開催しました 4/28

開催まで間のない案内となりましたが、御参加くださった保護者の皆様には感謝申し上げます。また、欠席の方も「個人シート」を記入・提出いただきありがとうございます。今後の指導の参考とさせていただきます。

○在学校訪問期間 6/22～7/3

まなびの教室担当者が各中学校に出向き、学担やコーディネーターの先生と生徒の頑張りや成長、目標や配慮内容について共有します。この期間は通級指導が入れられない場合がありますが、御理解をお願いいたします。

通級日の変更、追加は遠慮なくお電話ください。

太平中学校 772-7961

まなびの教室 772-7969



どうしたらいいかな～ ①

「板書の書き写しに時間がかかる」

先生が黒板に書いた文をノートに書き写すのにほかの人より時間がかかり、話を聞き逃したり次の活動に遅れたりして困っている人は少なくありません。

板書の書き写しは、①書かれた文字・言葉・文を理解する ②文字を言葉のまとまりとして覚える ③覚えた部分を漢字など間違えないようにして書く ④書き残した続きの部分（板書）を見てまた覚える ⑤また書くといった作業の繰り返しです。さらに途中で先生の説明を聴くことが加わるし、素早く書かなければならないときが多く、結構複雑で難しい作業とも言えます。

書き写しのどこで時間がかかるのかを知って対策を立てることが大切です。それでも授業の流れに遅れてしまうときは、先生に相談して、先生の板書量を減らしてもらったり先生が示した所だけを書き写したりしている人がいます。

また、タブレットのカメラで板書を撮影し、家庭での復習で見直している人もいます。ただし、評価の一資料としてノート提出がある場合は確認が必要です。まず、学校の先生に、タブレット活用の理由（書き写しが遅い理由）、授業でのタブレット活用の可否、使い方、ノートの評価の扱いなどについて相談すると良いです。まなびの教室担当者も相談をサポートします。

➡裏面に「まなびの教室の予定」を載せています。